

ビジネスコンサルタントよしだが行く!

社長! 儲かり まっか?



第17回

追求するのは「心身ともに美の回復」 盛・美容外科 院長 盛虹明



代表取締役
吉田雅紀 よしだまさき

株式会社ベンチャー・サポート・ ネットワーク (VSN)

大阪府箕面市薬生新家3丁目1番16号

TEL: +81-72-728-0002

FAX: +81-72-728-0008

E-mail: info@vsn.jp

URL: www.vsn.jp

主な業務内容: ベンチャービジネス支援業務



代表取締役
須賀保博 すがやすひろ

リバービジネスコンサルティング (上海麗宝商務諮詢有限公司)

上海市江蘇路369号光復世貿大廈15樓H樓

TEL: +86-21-5240-1050

FAX: +86-21-5240-1051

E-mail: rever@rever.com.cn

URL: www.rever.com.cn

主な業務内容: 上海進出企業の支援業務、
不動産物件の紹介

■「私の仕事は美人をつくるのではなく、美を回復させること」と柔らかな笑みで取材に応じてくれたのは、盛・美容外科の盛虹明院長。昨今の美容整形ブームで、まるで服やバッグを買うかのように顔を变える女性たちが増えている上海。案の定、「安かろう、悪かろう」でトラブルが後を絶たない。今回は、日本帰りの同氏が開業したすべてにおいて「5ツ星レベル」のクリニックに伺いました。

美容整形は「技術」ではなく「芸術」

吉田 上海は今、すごい美容整形ブームらしいですね?

盛 ええ、街中にクリニックができて、老若問わず女性の患者さんにぎわっています。日本と比べて安価で、また中国人の方は、後ろめたさのような感情がないぶん気軽に受けられるようですね。

吉田 盛先生のクリニックも、いわゆる美容整形外科ですか?

盛 ええ、そうです。美容整形は単純な医療行為ではなく、美しさを創作する過

程、いわば「芸術」であるといった方が
適当ではないかと、私は考えています。
例えば、東京のある有名な美容整形外科
では、患者さんたちはツンとした鼻、パ
ツチリ二重瞼とみんな同じ顔になって帰
っていきます。そこには彼女たちの生き
方も生活環境も表れていません。それで
はただの「技術」であって「芸術」では
ありません。私のクリニックでは手術前
に最低3回はカウンセリングを行ない、
患者さんのコンプレックスを探り、人格
を表す顔を造る手術を施しています。

吉田 カウンセリングや手術は、すべて
盛先生ご自身がなさるんですか?

盛 はい。ですから手術は、1日1件、
カウンセリングは5人が限界です。ちま
たのクリニックでは専門医でもない医師
が1日に何人もの手術をし、その結果、
副作用や想像と違った手術結果などで問
題が後を絶たないそうです。私のクリニ
ックでの手術費用は市場価格の約10倍。
しかしそれに見合った結果が出せるよう
最高の設備、技術を提供しています。



盛 虹明 シェン ホンミン

中国江蘇省出身、89年日本へ留学、96年医学博士を取得、その後現在に至るまで横浜市立大学医学部形成外科に在籍。04年上海へ帰国、今年9月盛・美容外科を開業、盛・美容外科院長、趣味は、音楽、旅行。

会社名：盛・美容外科
住 所：上海市山西路 1029 号 1603 室
(中電大酒店)
TEL：5878-8082(日本語窓口)
E-mail：sheng_hm2@yahoo.co.jp

社長に聞く！5つの質問

- Q1) 座右の銘は？
人のために生きること
- Q2) 上海のいちばん好きなのところは？
上海料理
- Q3) 上海のいちばん嫌いなのところは？
運転が乱暴なタクシー
- Q4) 上海で新規ビジネスをしたら？
老人ホーム
- Q5) あなたの10年後は？
中国で一番有名な美容外科

日本の大学でも客員教授を兼務

吉田 ところで、盛先生は最近まで日本で生活されていたとか。日本行きを決めたきっかけは何ですか？

盛 私が大学を卒業した当時の中国は、今と比較にならないくらい閉鎖的だったので、誰もが留学を目指した時代でした。特に日本にこだわりがあったわけではありませんが、26歳から今年6月まで16年間生活していたので、日本に対しては感謝の気持ちでいっぱいです。

吉田 その間、日本でも医師を？

盛 日本の大学の医学部で博士号を習得しました。その後、横浜市立大学医学部形成外科に勤務、現在でも客員研究員として籍を置いています。

次は老人ホームの経営！

吉田 上海に戻られたきっかけは？

盛 始めから戻るつもりでいました。このタイミングを選んだのは日本で会得した技術を祖国の患者さんたちのために役に立て、また医師たちへの技術指導ができる環境が整ったからです。帰国の際、北京の有名な大学病院から教授として迎えるというオファーを受けましたが、それでは患者さんと接することができなくなります。そこで国立病院で専門医を務め、ほかの医師たちを指導する傍ら、個人で開業という今の道を選びました。

吉田 今後のビジョンは？

盛 クリニックを最高の水準に保つにはこの規模が精一杯。あとは内容をさらに充実させるだけです。それとは別に老人ホーム経営を考えています。中国の高齢化は今後日本以上に深刻化するでしょう。日本で学んだサービスピースを生かし、最高レベルの施設を運営できればいいですね。

よしだのあとがき

盛先生、ありがとうございました。落ち着いた雰囲気とセンスのいい家具はクリニックとは思えない、それこそ、5ツ星のホテルのようでした。今でも横浜市立大学に定期的に帰っておられるとのこと。日本と中国の医学の架け橋になってください。